本書は製品とともに大切に保管してください

N8154-22
増設用 3.5”HDDケージ
ユーザーズガイド

まえがき

このたびは、本 HDD ケージをお買い上げいただきまことにありがとうございます。

本書は、N8154-22 増設用 3.5”HDD ケージ（以降「本製品」と呼ぶ）を正しく、安全に設置、使用するための手引きです。本製品を取り扱う前に必ずお読みください。また、本製品を使用する上でわからないこと、不具合が起きた時にもぜひご利用ください。本書は、必要な時にすぐに参照できるように必ずお手元に保管してください。

本製品を取り付ける本体装置の取り扱いについての説明は、本体装置のユーザーズガイドを参照してください。また、本製品を取り扱う前に「使用上のご注意」を必ずお読みください。

製品をご使用になる前に必ず本書をお読みください。
本書は熟読の上、大切に保管してください。

*856-128167-001-00 *

このユーザーズガイドは、必要なときすぐに参照できるよう、お手元に置いておくようにしてください。
「使用上のご注意」を必ずお読みください。

⚠ 使用上のご注意　～必ずお読みください～

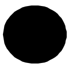
本製品を安全に正しくご使用になるために必要な情報が記載されています。

安全に関わる表示について

本書では、安全にお使いいただくためにいろいろな絵表示をしています。表示を無視し、誤った取り扱いをすることによって生じる内容を次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告	人が死亡する、または重傷を負うおそれがあることを示します。
⚠注意	火傷やけがなどを負うおそれや物的損害を負うおそれがあることを示します。

危険に対する注意・表示は次の3種類の記号を使って表しています。それぞれの記号は次のような意味を持つものとして定義されています。

	注意の喚起	この記号は危険が発生するおそれがあることを表します。記号の中の絵表示は危険の内容を図案化したものです。	（例）  （感電注意）
	行為の禁止	この記号は行為の禁止を表します。記号の中や近くの絵表示は、してはならない行為の内容を図案化したものです。	（例）  （分解禁止）
	行為の強制	この記号は行為の強制を表します。記号の中の絵表示は、しなければならない行為の内容を図案化したものです。危険を避けるためにはこの行為が必要です。	（例）  （プラグを抜け）

本書で使用する記号とその内容

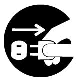
注意の喚起

	特定しない一般的な注意・警告を示します。
	感電のおそれがあることを示します。
	高温による障害を負うおそれがあることを示します。
	発煙または発火のおそれがあることを示します。

行為の禁止

	特定しない一般的な禁止を示します。
	分解・修理しないでください。感電や火災のおそれがあります。

行為の強制

	電源コードをコンセントから抜いてください。火災や感電のおそれがあります。
	特定しない一般的な使用者の行為を指示します。説明に従った操作をしてください。

安全上のご注意

本製品を安全にお使いいただくために、ここで説明する注意事項をよく読んでご理解していただき、安全にご活用ください。記号の説明については巻頭の『安全にかかわる表示について』の説明を参照してください。

＜全般的な注意事項＞

警告

人命に関わる業務や高度な信頼性を必要とする業務には使用しない

本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。

煙や異臭・異音がしたまま使用しない

万一、煙、異臭、異音などが生じた場合は、ただちに本体装置の電源をOFFにして電源コードをACコンセントから抜き、本製品のDCケーブルを抜いてください。その後、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご連絡ください。そのまま使用すると火災の原因となります。

針金や金属片を差し込まない

通気孔やカートリッジ挿入口から金属片や針金などの異物を差し込まないでください。感電するおそれがあります。

注意

装置内に水や異物を入れない

装置内に水などの液体、ピンやクリップなどの異物を入れないでください。火災や感電、故障の原因となります。もし入ってしまったときは、すぐに本体装置の電源をOFFにして電源コードをACコンセントから抜き、本製品のDCケーブルを抜いてください。分解しないで販売店または保守サービス会社に連絡してください。

＜電源・電源コードに関する注意事項＞

注意

電源がONのまま取り付け・取り外しをしない

本体装置への取り付け・取り外しの際や、周辺機器との接続の際は必ず主電源に接続している電源コードをACコンセントから抜き、本製品のDCケーブルを抜いてください。電源コードがACコンセントに接続されたまま取り付け・取り外しや接続をすると感電するおそれがあります。

中途半端に差し込まない

DCケーブルはしっかりと差し込んでください。中途半端に差し込むと接触不良のため発熱し、火災の原因となるおそれがあります。また差し込み部にほこりがたまり、水滴などが付くと発熱し、火災の原因となるおそれがあります。

指定以外の接続をしない

DCケーブルの接続や配線は本書の説明に従って正しく行ってください。指定以外の接続や配線は火災や感電の原因となるおそれがあります。

破損したケーブルを使用しない

ケーブルを接続する前にコネクタが破損していたり、コネクタピンが曲がっていたり、汚れたりしていないことを確認してください。破損や曲がっているコネクタおよび汚れたコネクタを使用するとショートにより火災を引き起こすおそれがあります。

ぬれた手で電源コードをもたない

本製品の取り付け・取り外しの場合は、ぬれた手で本体装置の電源コードの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。

電源コードのケーブル部を持って引き抜かない

本体装置の電源コードの抜き差しは、ケーブル部を持って引っ張らないでください。ケーブルが傷み、感電や火災の原因となります。

＜設置・移動・保管・接続に関する注意事項＞

⚠ 注意

プラグを差し込んだままインタフェースケーブルの取り付けや取り外しをしない

インタフェースケーブルの取り付け／取り外しは本体装置の電源コードをコンセントから抜いて行ってください。たとえ電源をOFFにしても電源コードを接続したままケーブルやコネクタに触ると感電したり、ショートによる火災を起こしたりすることがあります。

指定以外のインタフェースケーブルを使用しない

インタフェースケーブルは、NECが指定するものを使用し、接続する装置やコネクタを確認した上で接続してください。指定以外のケーブルを使用したり、接続先を誤ったりすると、ショートにより火災を起こすことがあります。
また、インタフェースケーブルの取り扱いや接続について次の注意をお守りください。

- ケーブルを踏まない。
- ケーブルの上にものを載せない。
- ケーブルの接続がゆるんだまま使用しない。
- 破損したケーブルを使用しない。
- 破損したケーブルコネクタを使用しない。
- ネジ止めなどのロックを確実に行ってください。
-

腐食性ガスの存在する環境で使用または保管しない

腐食性ガス（二酸化硫黄、硫化水素、二酸化窒素、塩素、アンモニア、オゾンなど）の存在する環境に設置し、使用しないでください。
また、ほこりや空気中に腐食を促進する成分（塩化ナトリウムや硫黄など）や導電性の金属などが含まれている環境へも設置しないでください。装置内部のプリント板が腐食し、故障および発煙・発火の原因となるおそれがあります。もしご使用の環境で上記の疑いがある場合は、販売店または保守サービス会社にご相談ください。

高温注意

本体装置の電源をOFFにした直後は、内蔵型のハードディスクドライブなどをはじめ装置内の部品が高温になっています。十分に冷めたことを確認してから取り付け/取り外しを行ってください。

<お手入れに関する注意事項>

⚠警告

自分で分解・修理・改造はしない

本製品の分解や、修理・改造は絶対にしないでください。装置が正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の危険があります。

プラグを差し込んだまま取り扱わない

お手入れは、本体装置の電源をOFFにして、電源コードをACコンセントから抜き、本製品のDCケーブルを抜いてください。たとえ電源をOFFにしても、電源コードを接続したまま装置内の部品に触ると感電するおそれがあります。

⚠注意

中途半端に取り付けない

DCケーブルやインタフェースケーブルは確実に取り付けてください。中途半端に取り付けると接触不良を起こし、発煙や発火の原因となるおそれがあります。

<運用中の注意事項>

⚠注意

雷がなったら触らない

雷が鳴りだしたら、本製品内蔵の本体装置には、触れないでください。感電するおそれがあります。

ペットを近づけない

本製品が内蔵された本体装置にペットなどの生き物を近づけないでください。排泄物や体毛が装置内部に入って火災や感電の原因となります。

近くで携帯電話やPHSを使用しない

本製品が内蔵された本体装置のそばでは、携帯電話やPHS、ポケットベルの電源をOFFにしてください。電波による誤動作の原因となります。

使用上のご注意　～装置を正しく動作させるために～

本製品を使用するときに注意していただきたいことを次に示します。これらの注意を無視して本製品を使用した場合、資産（データやその他の装置）が破壊されるおそれがありますので必ずお守りください。

- 本製品は Express5800 シリーズ用ハードディスクドライブ（以降「HDD」と呼ぶ）を接続するための増設用 HDD ケージです。他の目的では使用しないでください。
- 本製品と接続することができるディスクアレイコントローラについては、お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- 本製品に接続できる HDD については、お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- 本製品を取り付けることができる本体装置については、本体装置のユーザーズガイドを参照するか、お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- 本製品は大変デリケートな電子装置です。本製品を取り扱う前に、本体装置の金属フレーム部分などに触れて身体の静電気を逃がしてください。
- 本製品を落としたり、ぶつけたりしないでください。

本書について

本書は、Windows などのオペレーティングシステムやキーボード、マウスといった一般的な入出力装置などの基本的な取り扱いについて十分な知識を持ったユーザを対象として記載されています。

＜本書の記号について＞

本書の中には安全に関わる注意記号の他に次の3種類の記号を使用しています。それぞれの記号は次のような意味をもつものとして定義されています。

重要　装置を取り扱う上で、守らなければいけないことや、特に注意すべき点を示します。

チェック　装置を取り扱う上で、確認をしておく必要がある点を示します。

ヒント　知っておくと役に立つ情報や便利なことを示します。

梱包箱の中身について

梱包箱の中には本製品以外に色々な添付品が同梱されています。本製品に添付の構成品表を参照し、全ての添付品が揃っていることを確認してください。万一、足りないものや損傷しているものがあった場合には、本製品をご購入された販売店にご連絡ください。

保証について

本製品には「保証書」が添付されています。「保証書」は販売店で所定事項を記入しお渡ししますので、記載内容をご確認の上、大切に保管してください。保証期間中に故障した場合には、「保証書」の記載内容に基づき無償修理致します。保証後の修理については、ご購入された販売店もしくはご契約されているNEC保守サービス会社にご相談ください。

廃棄について

本製品の廃棄については、各自治体の廃棄ルールに従って分別廃棄して下さい。詳しくは、各自治体にお問い合わせ下さい。

重要　ハードディスクドライブやバックアップデータカートリッジ、フロッピーディスク、その他書き込み可能なメディア(CD－R／CD－RWなど)に保存されているデータは、第三者によって復元や再生、再利用されないようお客様の責任において確実に処分してから廃棄してください。個人のプライバシーや企業の機密情報を保護するために十分な配慮が必要です。

第三者への譲渡について

Transfer to Third Party

本製品を第三者に譲渡(または売却)する時には、必ず本書を含む全ての添付品をあわせて譲渡(または売却)してください。

重要

ハードディスクドライブ内のデータについて
譲渡する装置内に搭載されているHDDに保存されている大切なデータ(例えば顧客情報や企業の経理情報など)が第三者へ漏洩することの無いようにお客様の責任において確実に処分してください。
WindowsやLinuxなどのオペレーティングシステムの「ゴミ箱を空にする」操作やオペレーティングシステムの「フォーマット」コマンドでは見た目は消去されたように見えますが、実際のデータはHDDに書き込まれたままの状態にあります。完全に消去されていないデータは、特殊なソフトウェアにより復元され、予期せぬ用途に転用されるおそれがあります。
このようなトラブルを回避するために市販の消去用ソフトウェア(有償)またはサービス(有償)を利用し、確実にデータを処分することを強くお勧めします。データの消去についての詳細は、お買い求めの販売店または保守サービス会社にお問い合わせください。
なお、データの処分をしないまま、譲渡(または売却)し、大切なデータが漏洩された場合、その責任は負いかねます。

ソフトウェアに関しては、譲渡した側は一切の複製物を所有しないでください。また、インストールした装置から削除した後、譲渡してください。

データの保管について

オペレータの操作ミス、衝撃や温度変化等による装置の故障によってデータが失われる可能性があります。万一に備えて、HDD に保存されている大切なデータは、定期的にバックアップを行ってください。

輸送について

本製品を輸送する際は、本書末尾の「本製品の交換・取り外しについて」を参考に本体装置から本製品を取り出し、本製品とすべての添付品を購入時の梱包箱に入れてください。

本製品の寿命について

本製品の製品寿命は5年です。

ステップ1 梱包箱の中身を確認する

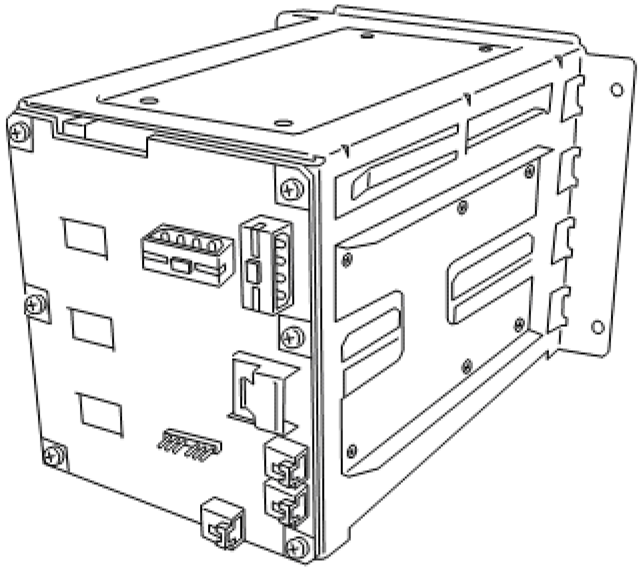
梱包箱には次のものが入っています。ご確認ください。

項番	品　　名	数量	備　　考
1	増設用 3.5“HDD ケージ	1	本体、HDD ダミートレー3個内蔵
2	ユーザーズガイド	1	本書
3	保証書	1	
4	SGPIO ケーブル	1	
5	ネジ	4	本体装置に取り付けるためのネジ。

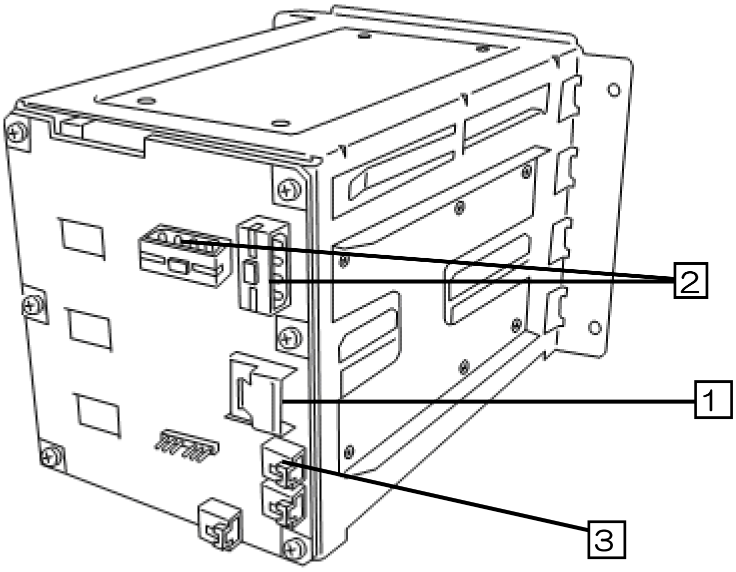


保証書は記載内容を確認の上、大切に保管してください。

3.5“HDD ケージ本体は下図のように、バックボードが取り付けられています。



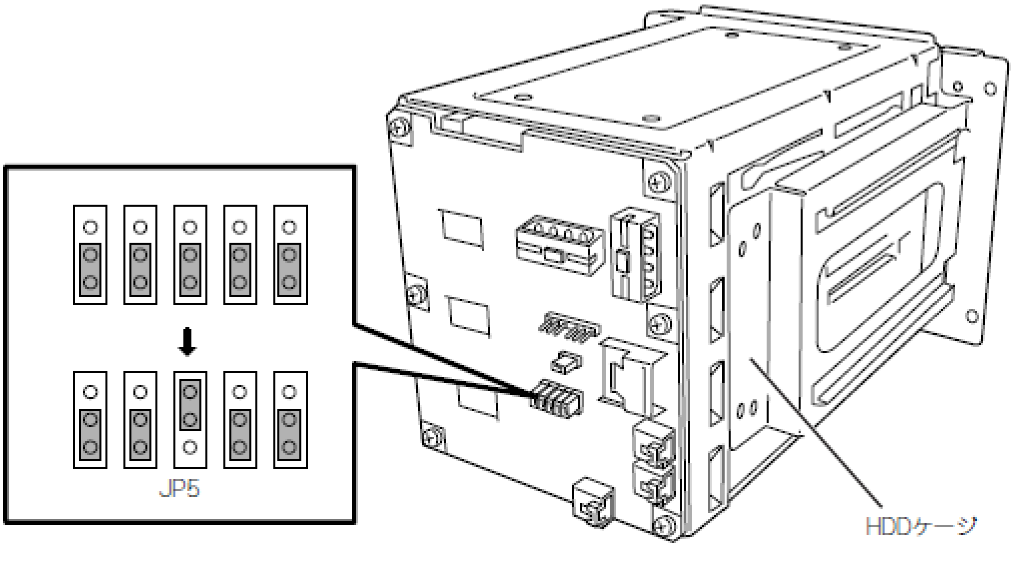
各部の名称と機能



1	SAS/SATA コネクタ ディスクアレイコントローラと接続する SAS/SATA コネクタです。 添付の MINI SAS ケーブルを接続します。
2	電源コネクタ（2箇所） 本体装置の電源ケーブルと接続する電源コネクタです。必ず両方のコネクタに電源ケーブルを接続してください。
3	SGPIOコネクタ 本装置に添付のSGPIOケーブルを接続する4ピンのコネクタです。

HDD ケージの設定

DISK コントローラが Onboard SATA コントローラの場合は、J5 の設定を変更してください。



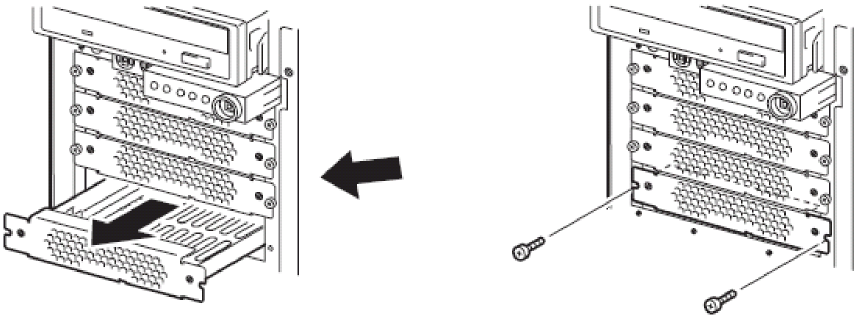
ステップ2 本製品を取り付ける

1. すべてのアプリケーションを終了して、システムを終了します。

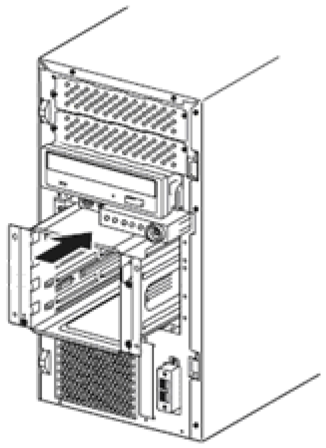
2. 本体装置の電源を OFF にして、電源ユニットに接続されているすべての電源コードをコンセントから取り外します。

3. 本体装置のユーザーズガイドを参照して、サイドカバーを外します。

4. 本体装置前面のフロントドアを開け、ドライブキャリア（４個）を固定しているネジを外し、ドライブキャリアを取り外します。



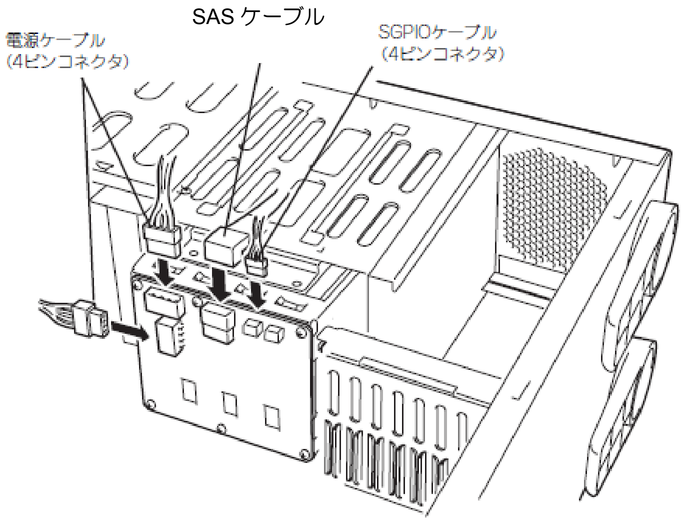
5. 本製品の向きに注意して本体装置の取り付けスロットに本製品を実装してください。なお正しい向きは本製品のHDD挿入口　右側の「HDD　SLOT番号の刻印」の「０」が下側になります。



注意

本製品を本体装置に取り付ける際は本装置前面を持って挿入してください。取り外す際にも同様に実施してください。
なお、本製品の内側の左右のガイドレール部分に手を触れないようにして下さい。

6. 以下の図を参照して、内蔵 SAS ケーブル(別売)、電源ケーブル、SGPIOケーブル(本装置添付)を接続します。

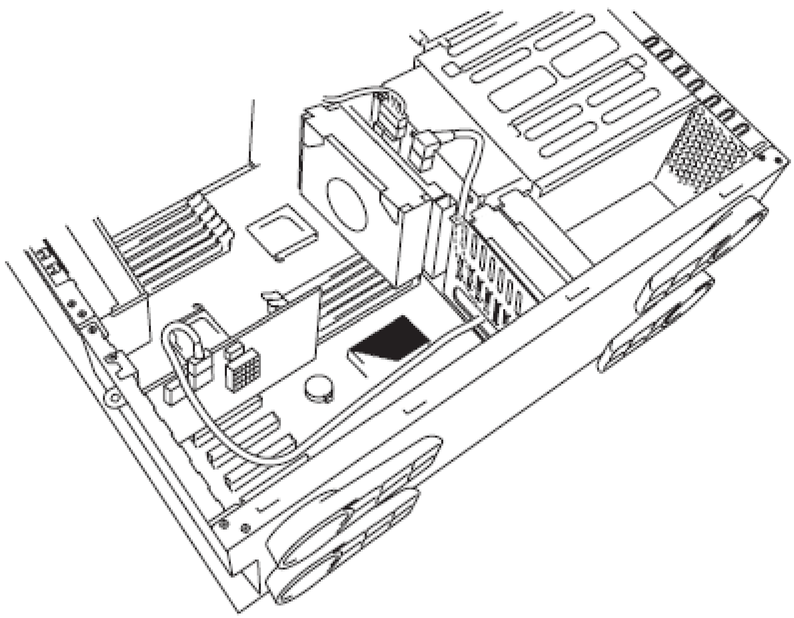


7. ケーブルを接続します。

【RAID コントローラ接続の場合】

(1)別売りの SAS ケーブル(K410-174(00))を RAID コントローラに接続する。

(2)SGPIO ケーブルをマザーボードの SGPIOA に接続する。

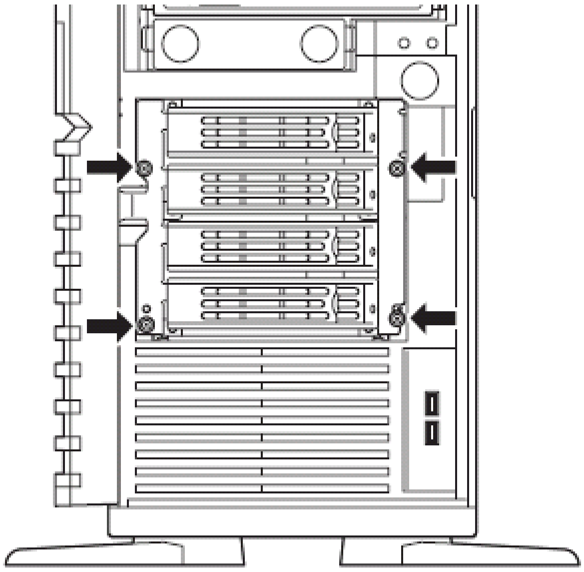


【マザーボード接続の場合】

(1)別売りの SAS-SATA ケーブル(K410-170(00))をマザーボード上の SATA コネクタと SGPIO2コネクタに接続する。

SAS-SATA ケーブルの SATA コネクタ側のケーブルにはチャネル番号を示すラベルが貼り付けられています。ラベルの番号と同じポート(コネクタ)に接続します。

8. 手順 4 で取り外したネジ(4本)で固定します。





取り外したドライブキャリアや余ったネジは大切に保管してください。

9. 取り外した本体装置のサイドカバーを元通りに取り付けます。

運用・保守について

保守サービスは NEC の保守サービス会社、および NEC が指定した保守サービス会社によってのみ実施されますので、純正部品の使用はもちろんのこと、技術力においてもご安心の上、ご都合にあわせてご利用いただけます。

なお、お客さまが保守サービスをお受けになる際のご相談は、弊社営業担当または代理店で承っておりますのでご利用ください。

本製品の交換・取り外しについて

本製品を交換・取り外すときは以下の手順に従ってください。

1. 本体装置の電源スイッチを OFF にして、電源ケーブルをコンセントから抜きます。
2. 本製品に実装されている HDD をすべて取り外します。

重要

HDDを取り出す前に、HDDの実装順番が分かるようにしておいてください。

3. 本体装置のサイドカバーを取り外し、本製品に接続されているケーブル類をすべて外します。

ヒント

ケーブルを外すための空間が狭く手が入らない場合は、フロントドアを開け、本製品を固定しているネジ4本を取り外し、引き出してからケーブルを外してください。

4. フロントドアを開け、本製品を固定しているネジ4本を取り外し、本製品をゆっくりと前に引き出して本体装置から取り出します。

5. 本製品を交換する場合は、引き続き「ステップ２　本製品を取り付ける」の手順 5～9 を実施し、取り外した HDD を元のスロットに取り付けます。

⚠ 注意

本製品を本体装置に取り付ける際は本装置前面の両サイドを持ってゆっくりと挿入してください。なお、本製品の内側の左右のガイドレール部分に手を触れないようにして下さい。

6. 取り外した本体装置のサイドカバーを元通りに取り付けます。